

# CentreCOM CP100TX アドミニストレーターマニュアル

対象ファームウェアバージョン: V.O.O2 BO2

アライドテレシス株式会社

## 安全のために

Ź 必ずお守りください





## 警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、 **死亡や大けが**の原因となります。

#### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。 火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

#### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときは さわらない

#### 異物は入れない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意して ください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセント から抜いてください。



異物厳禁

## 通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

#### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気の あたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所 注意

#### 表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。 専用(別売)の電源アダプターは、AC100 - 240Vで動作します。 電源アダプターに付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



電圧注意

#### 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。 接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピン コンセント

## 専用の電源アダプター以外使用しない

火災や感電の原因となります。 専用(別売)の電源アダプターは、AC100 - 240V で動作します。 電源アダプターに付属の電源ケーブルは100V 用ですのでご注意ください。



専用品 を使え

#### コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

#### 設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを 抜け

#### ケーブルを傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。 ケーブルやプラグの取扱上の注意:

- ・加工しない、傷つけない。
- ・ 重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

## で使用にあたってのお願い

#### 次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- ・腐食性ガスの発生する場所













#### 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますの で、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



#### 取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。





## お手入れについて

#### 清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



#### 機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこま せ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。







中性洗剤 使用



堅く絞る

#### お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



類不可

#### はじめに

この度は、CentreCOM CP100TX をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

CentreCOM CP100TX (以下本製品) は、TCO 削減を目指す企業の VoIP サービス導入に最適な IP 電話機です。本製品は企業に必要な各種電話サービス、ディスプレイ機能、ワンタッチダイヤル、ハンズフリーなどの機能を低価格で提供します。

#### 最新のファームウェアについて

弊社は、改良のために、予告なく本製品のファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは弊社 Web ページから入手してください。なお、最新のファームウェアのご利用の際には、弊社 Web ページに掲載されているリリースノートの内容をご確認ください。

http://www.allied-telesis.co.jp/

#### マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、次の3冊で構成されています。

#### アドミニストレーターマニュアル(本書)

本製品の設置業者や管理者を対象にしたマニュアルです。

本書は、各部の名称とはたらき、設置と配線、設定の方法、ファームウェアの更新、工場出荷時設定への 初期化や再起動、トラブルシューティングについて記載されています。電話の使用方法(電話のかけ方や 受け方、保留や転送、ミュート、電話帳の使い方、ワンタッチダイヤルの仕方)については、ユーザーマニュアルをご覧ください。

本書は、弊社 Web ページにて提供いたします(印刷物として、本製品に付属しておりません)。 http://www.allied-telesis.co.jp/

#### リリースノート

ユーザーマニュアル、アドミニストレーターマニュアルの補足や訂正、最新のファームウェアを使用する際の注意点など、現時点における最新の情報を記載した文書です。

弊社 Web ページにて提供いたします(印刷物として、本製品に付属しておりません。また、リリースノートが発行されていないこともあります)。

http://www.allied-telesis.co.jp/

#### ユーザーマニュアル

本製品を使用するユーザーを対象としたマニュアルです。

このマニュアルには、パッケージの内容、各部の名称とはたらき、設置や配線の方法、電話のかけ方や受け方、保留や転送、ミュート、電話帳の使い方、ワンタッチダイヤルの仕方、仕様が記載されています。 このマニュアルは、本製品のパッケージに印刷物として付属しています。

#### 表記について

#### アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味	説明			
ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の 手助けになる情報を示しています。			
<b>!</b> 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが 想定される内容を示しています。			
警告	警告 使用者が死亡または重傷を負うこと 想定される内容を示しています。				
参照	参照	関連する情報が書かれているところを 示しています。			

図 0.0.1 アイコン

#### 製品名

「本製品」と表記している場合は、CentreCOM CP100TX を意味します。

## 目次

安全のた	こめに	2
はじめに	_	4
	折のファームウェアについて	
	ニュアルの構成	
表記	<b>己について</b>	5
1 タ郭の	)名称と働き	8
2 設置と	<b>三配線</b>	
0.4	設置するときの注意	
2.1	3 1 0 33771 3 632	
	フットスタンドの取り付け	
2.2	フットスタンドの取り外し	
2.2	壁面への設置 壁面取り付けにおける注意	
	望曲取り付けたのける注意 壁掛け用ツメの向きの変更	
	空掛り用フスの回さの変更	
	ダッドへダンドの取り付け 壁面への取り付け	
23	受話器の取り付け	
	- 文品品の収り付け - 構内ネットワークへの接続(PoE による電源の供給)	
۷.4	電源の切断	
	コンピューターの接続	
	使用可能なケーブル	
2.5	AC アダプターの接続	
0	電源の切断	
O =0.←		
	)前に 設定のユーザーインターフェース	
	設定のユーリーインダーフェース 設定環境(前提条件)	
	ブラウザーによる設定	
	設定内容と手順	
4.2	VoIP FDB の使用	
	液晶ディスプレイの表示	
	ディスプレイのメニューによる設定	
5.1	メニューモードにおけるボタンの働き	
	「通話モード」と「メニューモード」	
	「メニュー」ボタン	
	「↑」「↓」 ボタン	
	「選択」ボタン	
	「クリア」ボタン	
	「0」~「9」(数字) ボタン	
<b>5.0</b>	「 <b>*</b> 」ボタン	
5.2	電話の設定	
	表示言語	
E 0	着信音	
5.3	ネットワークの設定	
	DHCP クライアントの有効化 / 無効化	
	MAC アドレスの表示ホスト名の表示	
	ルスト名の表示	
	P アトレスの表示 / 設定 サブネットマスクの表示 / 設定	
	电話笛号の設と FTP サーバーの設定	
	デフォルトゲートウェイの表示/設定	
	フラスル (**) 一 (**) エイの表示 / 設定	

	SIP サーバーの有効化 / 無効化	37
	SIP サーバーの表示	37
	コーデックの設定	37
	ファームウェアの更新	38
	ファームウェアバージョンの表示	38
	ネットワーク設定の内容の保存	
5.4	日付と時刻の設定	39
	日付書式の設定	
	時刻書式の設定	
	タイムゾーンの設定	
	サマータイム (未サポート)	
5.5	VoIP FDB の有効化 / 無効化	41
6 トラブ	ルシューティング	42
7 再起動		43
	電源オン / オフによる再起動 (PoE の場合)	43
	電源オン / オフによる再起動 (AC アダプターの場合)	43
8 工場出	荷時設定への初期化	44
9 ファー	ムウェアの更新	45
9.1	ファームウェアバージョンの確認方法	45
9.2	ATKK Tool Kit によるファームウェアの更新	45
	ATKK Tool Kit の動作環境	45
	ATKK Tool Kit のインストール	45
	ATKK Tool Kit によるファームウェアの更新	
9.3	液晶ディスプレイのメニューによるファームウェアの更新	
	FTP サーバーの準備	
	FTP サーバーの指定	
	ファームウェアのダウンロードと更新	50
A.1	液晶ディスプレイの全表示項目と設定のデフォルト値	51
ご注意		54
商標につ	NT	54
電波障害	自主規制について	54
廃棄方法	について	54
日本国外	での使用について	54
マニュア	ルバージョン	54

## 1 各部の名称と働き



図 1.0.1 本製品の上面

#### ①液晶ディスプレイ(16桁×2行)

日付、時刻、電話番号、回線または通話の状態、メニュー項目の選択肢などが表示されます。

#### ②メニュー機能ボタン



図 1.0.2 メニュー機能ボタン

- 「メニュー」ボタン通話モードからメニューモードに切り替えする時に押します。メニューモードでは前画面に戻る時に押します。
- 「クリア」ボタン 入力した文字を左側へ1つづつ消去します。
- 「選択」ボタン 選択した項目を決定するときに押します。
- •「音量調整(小)」/「上移動」ボタン 音量を下げるために1回づつ押します。▲カーソルが表示されたときに、上方向へ画面を移動します。
- 「音量調整 (大)」/「下移動」ボタン 音量を上げるために 1 回ずつ押します。▼カーソルが表示されたときに、下方向へ画面を移動します。

#### ③ワンタッチダイヤルボタン

よくかける相手の電話番号を登録しておくことにより、このボタンを押すだけで電話をかけることができます。10件の電話番号を登録できます。

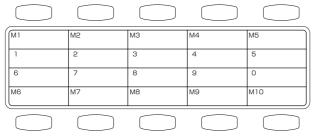


図 1.0.3 ワンタッチボタン

#### ④マイク(スピーカーフォン)

スピーカーフォン機能がオンのとき、音声を拾います。

#### ⑤電話機能ボタン

「保留」ボタン

1回押すと、通話を保留します。保留状態で、もう一度押すと復帰します。

- 「転送」ボタン通話を転送します。
- 「リダイヤル」ボタン 最後にダイヤルした電話番号を再度ダイヤルします。
- 「ミュート」ボタン 消音機能のオン/オフを切り替えます。
- •「スピーカー」ボタン スピーカーフォン機能のオン/オフを切り替えます。

#### ⑥ダイヤルボタン

「0」~「9」、「\*」、「#」。電話をかけるとき、相手の電話番号をダイヤルするボタンです。電話帳などの登録や設定の際には、数字や文字を入力するのに使用します。

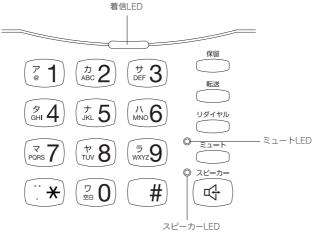


図 1.0.4

#### 7 LED

LED	色	状態	表示内容
着信	橙	点滅	電話がかかってきています。
		消灯	電話がかかってきていません。
ミュート	赤	点灯	消音機能が働いています。
		消灯	消音機能が働いていません。
スピーカー	緑	点灯	スピーカーフォン機能が働いています。
		消灯	スピーカーフォン機能が働いていません。

#### ⑧受話器コード

受話器と本体を接続するカールコードです。

#### 9受話器

通話するために手に持つ部分です。受話器コードで本体と接続します。

#### ⑩受話器ポート

受話器と本体を接続するためのポートです。受話器と本体にひとつずつあります。

#### ⑪壁掛け用ツメ

本製品を壁掛け設置にする際、受話器が滑り落ちてしまわないようにするツメです。 壁掛けにする際には、一旦はずして上下逆にして差し込みます。

#### **®スピーカー**

スピーカーフォン機能がオンのとき、通話相手の音声が出力されます。

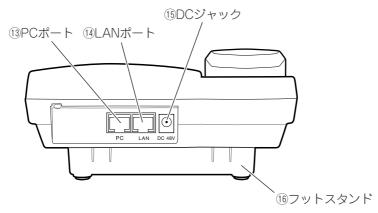


図 1.0.5 本製品の背面

#### ③ PCポート

コンピューターを接続するポートです(PC ポート、LAN ポート間はブリッジになっています)。 10BASE-T/100BASE-TX に対応しています。接続モードは、オートネゴシエーションです。MDI/MDI-X 自動切替機能を持っています。

#### ① LANポート

本製品をLAN に接続するためのポートです。PoE (IEEE802.3af) による受電機能を持っており、PoE スイッチから電源の供給を受けることができます (クラス 1)。10BASE-T/100BASE-TX に対応しています。接続モードは、オートネゴシエーションです。MDI/MDI-X 自動切替機能を持っています。

#### ⑤ DC ジャック

LAN ポートからの PoE による受電ができない場合、オプション(別売)の AC アダプター AT-PWR01-ADP を接続する DC プラグです。

#### ®フットスタンド

本製品を設置するときに使用するスタンドです。水平面または壁面への設置によって、取り付け方が違います。

#### 2 設置と配線

#### 設置するときの注意

本製品を設置し始める前に、必ず 2 ページの「安全のために」をよくお読みください。 設置場所については、下記にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- テレビ、ラジオ、無線機、携帯電話などのそばに設置しないでください。
- ケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
- 本製品は屋外では使用できません。

#### 2.1 水平な場所への設置

#### フットスタンドの取り付け

本製品を机の上などの水平な場所に設置する場合は、付属のフットスタンドを図 2.1.1 の向きに取り付けます。この向きに取り付けることにより、本製品を使いやすい角度に傾斜させることができます。また、4 つのゴム足により、本製品への衝撃を吸収し、設置面の傷つきを防止します。

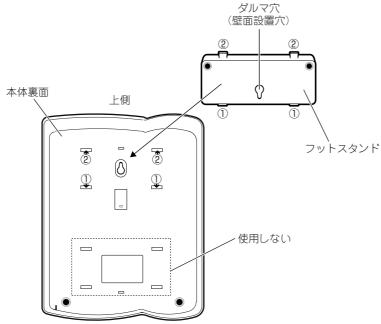


図 2.1.1 水平設置におけるフットスタンドの取り付け

- 1 フットスタンドのダルマ穴の細い部分を下にして、ツメ①を本体の穴①に差し込んでください。
- **2** ①を支点にして回すように、フットスタンドのツメ②を、本体の穴②にカチッと音がするまで押し込んでください。

#### フットスタンドの取り外し

フットスタンドを取り外す場合は、①を支点にして回すように、フットスタンドのツメ②を、本体の穴②から抜いてください。

#### 2.2 壁面への設置

底面の壁面設置穴により、本製品を壁面に取り付けることができます。ただし、取り付けのためのタッピングネジ(2本)などは付属しておりませんので、お客様にて別途ご用意くださいますようお願いいたします。

#### 壁面取り付けにおける注意

- 高所に取り付ける際には、特に注意して、確実に壁に固定してください。固定が不十分な場合、落下によるけがや、本製品が破損するおそれがあります。
- 取り付け面の状態によっては、十分な取り付け強度を得られないことがあります。機器およびケーブルの 重みによって本製品が落下しないよう、確実に取り付け・設置をおこなってください。けがや本製品の破 損の原因になることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所には設置しないでください。落下によるけがや、本製品の故障の原因になることがあります。
- 取り付け面によっては、本製品設置の際に、被着面の塗装などに傷が付く場合があります。

#### 壁掛け用ツメの向きの変更

受話器が滑り落ちないようにするために、壁掛け用ツメの向きを変えます。

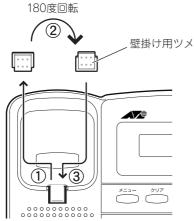


図 2.2.1 壁掛け用ツメの向きを変える

- 1 壁掛け用ツメを上に向かってスライドさせ、本体から外してください。
- **2** 壁掛け用ツメを上下 180 度回転させ、受話器を引っかける突起を上にして、同じ場所にカチッと音がするまで差し込んでください。

#### フットスタンドの取り付け

本製品を壁面に設置する場合は、付属のフットスタンドを図 2.2.2 の向きに取り付けます。この向きに取り付けることにより、本製品は壁面に対して水平になります。

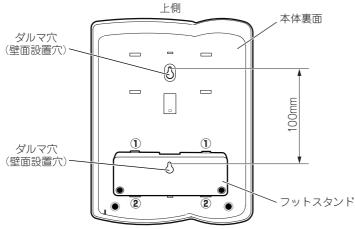


図 2.2.2 壁面設置におけるフットスタンドの取り付け

- 3 フットスタンドのダルマ穴の細い部分が上になるようにして、ツメ①を本体の穴①に差し込んでください。
- **4** ①を支点にして回すように、フットスタンドのツメ②を、本体の穴②にカチッと音がするまで押し込んでください。

#### 壁面への取り付け

ここでは、壁面への取り付けにタッピングネジを使用すると仮定して説明します(実際の工事では、壁面の構造に合わせて、適切な取り付け工事をおこなってください)。



壁面の構造によっては、タッピングネジの使用が適切ではない場合があります。壁面の構造に合わせて、適切な壁面への取り付け工事をおこなってください。不適切な工事をおこなった場合、落下の原因となり危険です。

**5** ネジ頭が 5mm ほど飛び出すように (図 2.2.4)、また上下方向に 100mm の間隔をあけて (図 2.2.5、図 2.2.2 (p.12))、壁面に 2本のタッピングネジを取り付けてください。

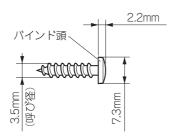


図 2.2.3 推奨タッピングネジ寸法

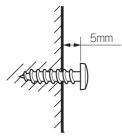


図 2.2.4 壁面からのタッピングネジの飛び出し寸法



図 2.2.5 タッピングネジの間隔

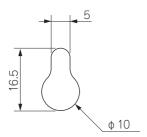
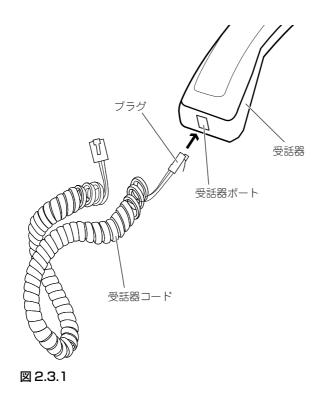


図 2.2.6 壁面設置穴(ダルマ穴)寸法

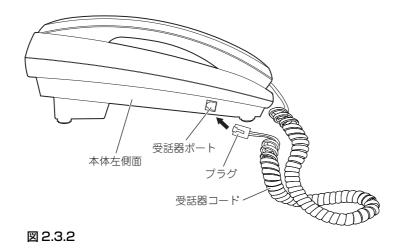
6 壁面のタッピングネジの頭に、本製品の底面のダルマ穴を通し、穴の細い部分までずらして固定してください。

#### 2.3 受話器の取り付け

受話器は取り外された状態で同梱されていますので、下記の手順で受話器を本製品の本体に接続してください。 1 受話器コードを受話器に接続してください。受話器コードのどちらのプラグを接続してもかまいません。



2 受話器コードのもう一方を、本体側面の受話器ポートに接続してください。



#### 2.4 構内ネットワークへの接続(PoEによる電源の供給)

本製品は、IEEE802.3af Power Over Ethernet (クラス 1) に準拠しており、LAN ポートに接続された UTP ケーブルを経由して、電源の供給を受けることができます。

1 付属の UTP ケーブル (カテゴリー 5、ストレート、1.8m) を、本製品の LAN ポートに接続してください。

**2** UTP ケーブルのもう一端を、構内ネットワーク(IEEE802.3af 準拠スイッチ)に接続してください。

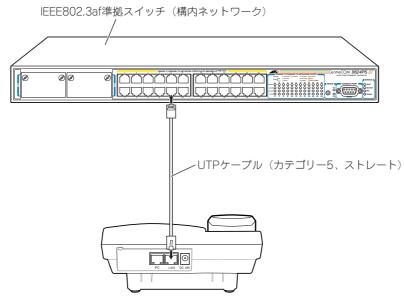


図 2.4.1 IEEE802.3af 準拠スイッチへの接続

3 LAN ポートからの電源供給を受け、本製品は起動を開始します。





IEEE802.3af 準拠スイッチの機種によっては、本製品への接続にあたって設定が必要な場合があります。詳しくは、ご使用になるスイッチの取扱説明書をご覧ください。

**4** 液晶ディスプレイが下記のように表示されることを確認してください(日付、時刻、電話番号は環境によって異なります)。

2	8 / 0	7/0	5	1	3	:	4	5	8
0	0 0 1								

#### 電源の切断

LANポートから供給されている電源を切断する場合は、UTPケーブルを本製品のLANポートまたはIEEE802.3af 準拠スイッチのポートから抜いてください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

#### コンピューターの接続

図 2.4.2 のように、PC ポートにコンピューターを接続することができます(LAN ポートと PC ポート間は、ブリッジになっています)。

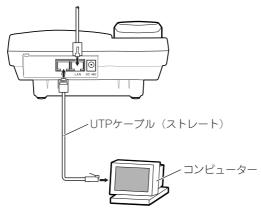


図 2.4.2 コンピューターの接続



PC ポートにコンピューターを接続する場合は、コンピューターによるトラフィックが、本製品 通話のトラフィックを圧迫しないよう考慮する必要があります。

#### 使用可能なケーブル

- 10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリー 5 以上の UTP ケーブルを使用してください。
- 本製品は、MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしていますので、接続先の機器のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート / クロスどちらのケーブルタイプでも使用することができます。
- 本製品と接続先の機器の間のケーブル長は、100m以内にしてください。

#### 2.5 AC アダプターの接続

構内ネットワークから UTP ケーブルを経由して電源の供給を受けられない場合は、オプション (別売)の AC アダプター (AT-PWR01-ADP) を使用します。

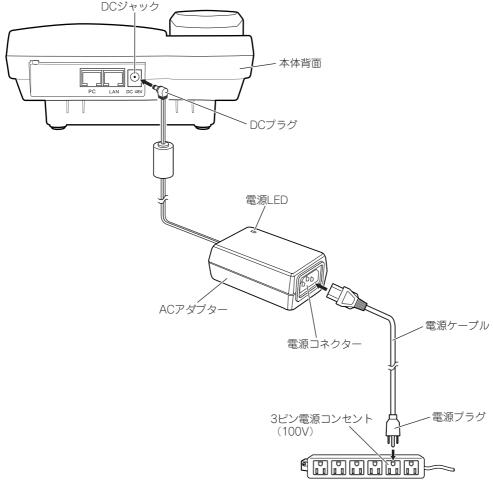


図 2.5.1 AC アダプターの接続

- 1 AC アダプターの DC プラグを、本体背面の DC ジャックに接続してください。
- 2 電源ケーブルを AC アダプターの電源コネクターに接続してください。
- **3**電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに接続してください。 電源が入ると、ACアダプターの電源LED(緑)が点灯します。



本製品を AC100V で使用する場合は、AC アダプターに付属の電源ケーブルを使用してください。AC200V で使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

4 本製品は起動を開始します。

Booting ...

**5** 液晶ディスプレイが下記のように表示されることを確認してください(日付、時刻、電話番号は環境によって異なります)。

28/07/05 13:45 **a** 0001

#### 電源の切断

AC アダプターで供給されている電源を切断する場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

#### 3 設定の前に

#### 3.1 設定のユーザーインターフェース

本製品の設定や、ファームウェアの更新には、次の3つのユーザーインターフェースを使用することができます。

#### Web ブラウザーによる GUI

Webブラウザーを利用するグラフィカル・ユーザー・インターフェースです。

「VoIP FDB の有効化」以外のすべての項目の設定が可能です。

Web ブラウザーとして Microsoft Internet Explorer Version 6 以上をご使用ください。



参照 「4 Web ブラウザーによる設定」(p.21)

#### 液晶ディスプレイのメニューモード

本製品の液晶ディスプレイとボタンによるメニュー形式のユーザーインターフェースです。 主要な項目のみが設定できます。ただし、「VoIP FDB の有効化」はメニューモードのみで設定が可能で す。



「5 液晶ディスプレイのメニューによる設定」(p.29) 「A.1 液晶ディスプレイの全表示項目と設定のデフォルト値」(p.51)

#### ATKK Tool Kit

本製品のファームウェアを更新(バージョンアップ)するユーティリティーです。

このツールは、ネットワークに存在する本製品をリスト表示し、その中から更新の対象とする本製品を選 択することができます。

液晶ディスプレイのメニューモードでもファームウェアの更新ができますが、このツールを使う方が簡単 です。



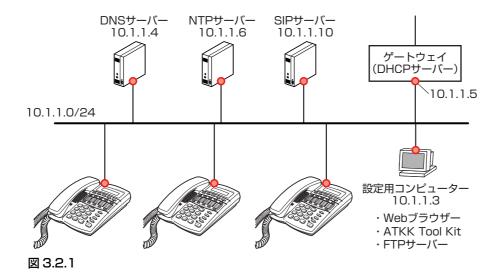
参照 「9 ファームウェアの更新」(p.45)

#### Telnet による CLI (未サポート)

文字ベースの対話型ユーザーインターフェースです(コマンド・ライン・インターフェース)。

#### 3.2 設定環境(前提条件)

本書の説明では、本製品を接続するネットワーク環境には、下記のようなサーバーが存在すると仮定します。 設定用コンピューターでは、設定画面を表示する Web ブラウザーの実行や、ファームウェアの更新を行う ATKK Tool Kit、FTP サーバーを実行します。



- 本製品は、工場出荷時設定において DHCP クライアント機能が有効となっています。
- DHCP サーバーは、本製品に対して 10.1.1.100 以降の IP アドレスをリースし、ゲートウェイ (10.1.1.5)、プライマリー DNS サーバー (10.1.1.4)、セカンダリー DNS サーバー (10.1.2.4) の IP アドレスを提供します。
- 本製品をNTP サーバーに同期し、液晶ディスプレイに正しい日時が表示されるようにします。

### 4 Web ブラウザーによる設定

#### 4.1 設定内容と手順

- 1 設定用コンピューターで Web ブラウザー (Microsoft Internet Explorer Version 6 以上)を起動し、Web ブラウザーのアドレス欄に、設定対象の本製品の IP アドレスを入力してください。ここでは、「http://10.1.1.100/」を仮定します。本製品の IP アドレスは、 (注) (注) (2) (2) (2) (4) で確認できます。
- **2** 次の画面が現れたら、「Password」にパスワードを入力して「Login」ボタンをクリックしてください。本製品には、初期パスワードとして「friend」が設定されています。



図 4.1.1 ログイン

**3** Web 設定画面が表示されます。必要な項目を設定し、「設定更新」ボタンをクリックしてください。 下記の例では、SIP サーバー有効、SIP ドメイン名、SIP サーバーアドレス、Digest 認証用 ID、Digest 認証用 Password、電話番号、NTP サーバー(IP アドレス)を設定しています。他の項目は、デフォルトまたは DHCP サーバーから取得した情報です。

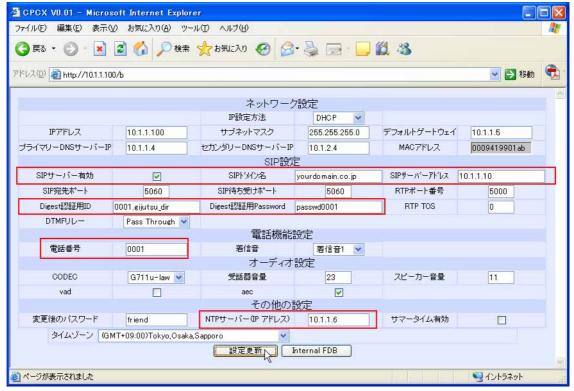


図 4.1.2 SIP サーバーを使用する場合の設定例

Web 設定画面の項目の詳細を、表 4.1.1~表 4.1.5(p.24)に示します。参照の便宜のために、本製品の液晶ディスプレイのメニューモードにおける「ボタン操作」を併記してあります。「Web」に「×」が記載された項目は、Web 設定画面にその項目が存在しないことを意味し、「ボタン操作」に「×」が記載された項目は、ボタン操作が存在しないことを意味します。

#### 表 4.1.1 ネットワーク設定のパラメーター

項目名	詳細	Web	ボタン操作
IP設定方法	本製品に割り当てる IP アドレスの設定方法。 「スタティック」または「DHCP」から選択する。 デフォルトは「DHCP」。 「スタティック」を選択した場合、以下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリー DNS サーバーIP」、「セカンダリー DNS サーバーIP」を手入力できる。	0	×=1- (** 3) (** 2) (** 1)
IP アドレス	IP アドレスを固定的に設定する場合は、「IP 設定方法」で「スタティック」を指定し、ここに IP アドレスを入力する。	0	x=1-
サブネットマスク	サブネットマスクを固定的に設定する場合は、「IP 設定方法」で「スタティック」を指定し、ここにサ ブネットマスクを入力する。		x=1- (#3) (2) (#5)
デフォルトゲート ウェイ	デフォルトゲートウェイを固定的に設定する場合は、「IP 設定方法」で「スタティック」を指定し、ここにデフォルトゲートウェイのIP アドレスを入力する。	0	X=2-   T 3   M 2   T 8
プライマリー DNS サーバー IP	プライマリー DNS サーバーを固定的に設定する場合は、「IP 設定方法」で「スタティック」を指定し、ここにプライマリー DNS サーバーの IP アドレスを入力する。	0	x=1- (#3) (%2) (%29)
セカンダリー DNS サーバー IP	セカンダリー DNS サーバーを固定的に設定する場合は、「IP 設定方法」で「スタティック」を指定し、ここにセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力する。	0	×
MAC アドレス	「000941xxxxxx」。参照のみ(変更不可)。	0	x=1- (ÿ 3) (n/A8c 2) (n/A8c 2)
ホスト名	「AT000941xxxxxx」。参照のみ(変更不可)。	×	"=1- (#3) (#3) (DEF 3) (DEF 3)
FTP サーバー	ファームウェア(F/W)をダウンロードする FTP サーバーの IP アドレスを入力する。 (例) 10.1.1.3	×	x=1 (y 3) (n/2) (√x 7)
F/W ファイル名	現在製品にダウンロードされているファームウェアファイル名が表示される。 (例) CPCXv0017c7.bin  ボタンを押すと、FTP サーバーからファームウェアファイルのダウンロード(更新)が開始される。 ファームウェアの更新は、ATKK Tool Kit でも可能。	×	(#3) (#2) (#3) (#3)
F/W バージョン	現在製品にダウンロードされているファームウェアのバージョンが表示される。 (例) V.0.01 B07	×	*=1- (** 3) (** 2) (** 1) (** 4)

#### 表 4.1.2 SIP の設定のパラメーター

表 4.1.2 SIP の設定のパラメーター							
項目名	詳細	Web	ボタン操作				
SIP サーバー有効	SIP サーバーを参照するか否か。 デフォルトは参照しない(チェックなし)。 SIP サーバーを参照する場合は、「VoIP FDB」を有	0	*==- (**3 (**2) (**1) (**0)				
	効(ハイ)にしてはいけない(液晶ディスプレイの 「メニューモード」の「4.Advanced」で設定する)。						
SIP ドメイン名	SIP ドメイン名を入力する(32 文字以内)。 (例) yourdomain.co.jp	0	×				
SIP サーバーアドレス	SIP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力する。40 文字までのホスト名が入力可能。	0	(表示のみ)				
SIP 宛先ポート	(例) 10.1.1.10、yoursipserver.yourdomain.co.jp SIP パケットの宛先ポート番号を入力する。 0 ~ 65535 が入力可能。 デフォルトは「5060」。	0	X				
SIP 待ち受けポート	SIP パケットの送信元ポート番号を入力する。 0 ~ 65535 が入力可能。 デフォルトは「5060」。	0	×				
RTP ポート番号	RTP パケットの送信元ポート番号を入力する。 0 〜 65535 が入力可能。 デフォルトは「5000」。	0	×				
Digest 認証用 ID	SIP サーバーからの認証を受ける際に使用するユーザー名を入力する。 半角英数字。大文字小文字を区別。 サーバーにも依存。 (例) 0001.gijutsu_dir		×				
Digest 認証用 Password	SIP サーバーからの認証を受ける際に使用するパスワードを入力する。 半角英数字。大文字小文字を区別。 サーバーにも依存。 (例) passwd001	0	×				
RTP TOS	本製品が送信する RTP パケットの IP TOS 優先度 (TOS オクテットの precedence)。 0、32、64、96、128、160、192、224 が入力可 能。デフォルトは「0」(無指定と同じ)。	0	×				
DTMF リレー	DTMF リレーの方法。 「Pass Through」、「RFC 2833」から選択する。 デフォルトは「Pass Through」。	0	×				
VoIP FDB	「Internal FDB」ボタンによって設定されたテーブル(VoIP FDB)を有効にするか否か。「ハイ」、「イイエ」から選択。 デフォルトは「イイエ」。 これを有効(ハイ)にする場合は、SIP サーバーを 参照するように設定してはいけない(「SIP サー パー有効」にチェックを入れてはいけない)。	×	×=1- (24)				

#### 表 4.1.3 電話機能設定のパラメーター

衣4.1.3 电前域形式 たのパングーター						
項目名	詳細	Web	ボタン操作			
電話番号	数字のみ。最大 15 桁。 (例) 0001	0	x=1- (ÿ 3) (ħ. 2) (No 6)			
着信音	着信時の鳴動音。 「着信音 1」〜「着信音 13」の 13 種類から選択する。デフォルトは「着信音 1」。 本製品を再起動すると、着信音はデフォルトに戻る。	0	x=a- √ 3 √ 1 √ 2			
表示言語	液晶ディスプレイの表示言語を設定する。 「1. エイゴ」、「2. ニホンゴ」から選択。 デフォルトは「2. ニホンゴ」。 本製品を再起動すると、表示言語はデフォルトに戻る。	×	x=3- ∞ 3 7 1 7 1			

#### 表 4.1.4 オーディオ設定のパラメーター

項目名	詳細	Web	ボタン操作
CODEC	発呼において優先的に使用する CODEC。 「G729(未サポート)」、「G711u-law」、「G711A-law」、「オート」から選択する。 デフォルトは「G711u-law」。 着呼では相手の CODEC に合わせるが、相手が指定してきた CODEC をサポートしていない場合は通話できない。 また、本製品同士の通話において、発呼側が「オート」の場合、着呼側の CODEC の如何にかかわらず「G711u-law」が優先される。	0	*** 3
受話器音量	受話器の再生音量。 3~33の値を入力する。デフォルトは「23」。	0	受話器を取ってから または 🕍
スピーカー音量	スピーカーの再生音量。 1 ~ 15 の値を入力する。デフォルトは「11」。	0	<ul><li>を押してから</li><li>⇒ または →</li></ul>
vad (未サポート)	無音圧縮(Voice Activity Detection)と無音時における背景雑音の擬似的生成(Comfort Noise Generation)を行うか否か。デフォルトはチェックなし(オフ)。	0	×
aec	エコーキャンセラー (Acoustic Echo Canceller) を有効にするか否か。 デフォルトは有効にする (チェック有り)。	0	×

#### 表 4.1.5 その他の設定のパラメーター

項目名	詳細	Web	ボタン操作
変更後のパスワード	設定 Web 画面にログインするときのパスワード。 半角英数字とダブルクオート以外の記号。16 文字 以内。大文字小文字を区別。 工場出荷時設定における初期パスワードは 「friend」。	0	×
NTP サーバー IP ア ドレス	本製品の起動時に時刻を同期する NTP サーバーの IP アドレス。 (例) 10.1.1.6	0	×
サマータイム有効 (未サポート)	サマータイムを有効にするか否か。 デフォルトはサマータイム無効(チェックなし)。	0	**=1 (# 3) (# 3) (* 1) (* 4)
タイムゾーン	デフォルトは 「(GMT+09:00)Tokyo,Osaka,Sapporo」。	0	
日付書式	液晶ディスプレイに表示する日付の書式を設定する。 「1.DD/MM/YY」、「2.MM/DD/YY」から選択。 デフォルトは「1.DD/MM/YY」。	×	**************************************
時刻書式	液晶ディスプレイに表示する時刻の書式を設定する。 「1.24 ジカンセイ」、「2.12 ジカンセイ」から選択。 デフォルトは「1.24 ジカンセイ」。	×	**************************************

#### 4 下記の画面が表示されます。



図 4.1.3 設定の完了

本製品は再起動し、Web ブラウザーによる設定で動作を開始します。

28/07/05 13:45 **a** 0001

#### 4.2 VoIP FDB の使用

通話相手の電話番号と IP アドレスを固定的に関連づけるテーブルである VoIP FDB を使用することにより、SIPサーバーを使用しない IP 電話環境を構築することができます。

- 以下の手順では、本製品の IP アドレスは手入力で固定設定するものとします(DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーの設定で本製品の MAC アドレスと IP アドレスを静的に結びつける必要があります)。
- VoIP FDB には、100件の電話番号を登録することができます。
- VoIP FDB と SIP サーバーを介した通話を併用することはできません。
- 1 本製品の液晶ディスプレイのメニューで「DHCPユウコウ」を「イイエ」に設定し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」を設定してください。ここでは、「IPアドレス」として「10.1.1.101」を設定すると仮定します。この設定により本製品は再起動します。



「5.3 ネットワークの設定」(p.33) 「DHCP クライアントの有効化/無効化」(p.33) 「IP アドレスの表示/設定」(p.33) 「サブネットマスクの表示/設定」(p.34)

- **2** 設定用コンピューターで Web ブラウザーを起動し、Web ブラウザーのアドレス欄に、設定対象の本製品のIP アドレスを入力してください。ここでは、「http://10.1.1.101/」を仮定します。
- **3** ログイン画面(図 4.1.2、p.21)が現れたら、「Password」にパスワードを入力して「Login」ボタンをクリックしてください。本製品には、初期パスワードとして「friend」が設定されています。
- 4 設定画面が表示されたら、画面の下の方にある「Internal FDB」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.1

**5** VoIP FDB 画面が表示されます。相互に電話をかけ合う本製品の「電話番号」と「IP アドレス」のすべての対応を入力し、「戻る」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.2



図 4.2.3

他の項目は、デフォルトです。

6 設定画面に戻ります。必要な項目を設定し、「設定更新」ボタンをクリックしてください。 下記の例では、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリーDNS サーバー」、「セカンダリーDNS サーバー」、「電話番号」、「NTP サーバー」を入力しています。 VoIP FDB を使用する場合は、必ず「SIP サーバー有効」のチェックを外してください。 「IP 設定方法」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」は、手順 1 (p.26) の設定が反映されています。

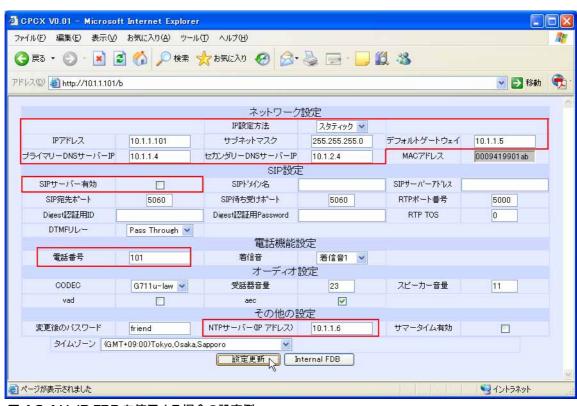


図 4.2.4 VoIP FDB を使用する場合の設定例

**7** Web ブラウザーに「更新しました!」と表示されます(図 4.1.3、p.25)。 本製品は再起動し、液晶ディスプレイには設定した電話番号が表示されます。

28/07/05 13:45 **a** 101

**8**「5.5 VoIP FDB の有効化 / 無効化」(p.41) を実行し、「FDB ユウコウ」を「ハイ」に設定してください。これにより、本製品は再起動します。



VoIP FDB の設定と本製品の IP アドレス、サブネットマスクを同時に変更する場合は、最初に「Internal FDB」ボタンをクリックして「VoIP FDB」画面の設定を終え、図 4.2.4(p.27)の設定画面に戻ってから IP アドレス、サブネットマスクなどのネットワーク設定を変更してください。

図 4.2.4 の設定画面で本製品の IP アドレス、サブネットマスクを変更した後に、「Internal FDB」ボタンをクリックすると、VoIP FDB 画面から戻れなくなります(この状況から復旧するためには、本製品の再起動が必要です)。

#### 液晶ディスプレイの表示

VoIP FDB を使用した発信や着信では、液晶ディスプレイには IP アドレスが表示されます。

To: 10.1.1.102

From: 10.1.1.101

#### 5 液晶ディスプレイのメニューによる設定

参照 「A.1 液晶ディスプレイの全表示項目と設定のデフォルト値」(p.51)

#### 5.1 メニューモードにおけるボタンの働き

#### 「通話モード」と「メニューモード」

液晶ディスプレイには、次の2つの表示モードがあります。

#### 通話モード

電話をかけたり、受けたりするときのモードで、通話相手や通話時間が表示されます。 本製品の電源をオンにした直後は、このモードです。

02/01/08 19:03 2 27999168

#### 図 5.1.1 通話モード

#### メニューモード

電話帳や通話記録による発信、電話帳の編集、本製品の設定などを行うモードです。 「通話モード」のとき、 着 を押すとこのモードに入ります。 再度、 着 を押すと「通話モード」に戻ります。

\*1. デンワチョウ 2. ツウワキロク ▼

図5.1.2 メニューモード (トップレベル)

#### 「メニュー」ボタン

「通話モード」のときにこのボタンを押すと、「メニューモード」に入ります。 「メニューモード」のときにこのボタンを押すと、ひとつ上のメニュー階層に移動します。 メニュー階層のトップレベルにいるときに、このボタンを押すと「通話モード」に抜けます。

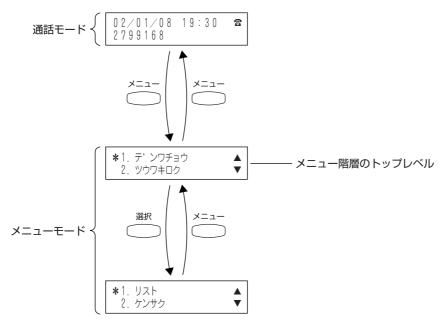


図 5.1.3 「メニュー」ボタンの動作

#### 「↑」「↓」ボタン

「メニューモード」のとき、メニュー項目を移動するボタンとなります。 項目が 1 行に収まっている場合、項目の左に「★」が表示され、現在選択している項目を指します。 液晶ディスプレイの右端に「▲」または「▼」が表示されている場合、ディスプレイの上または下にメニュー項目が隠れていることを示しており、「↑」「↓」ボタンでディスプレイがスクロールします。



図 5.1.4 1 行に収まっている項目

項目が2行に渡っている場合、現在選択している項目が表示されます。



図 5.1.5 2 行に渡っている項目

#### 「選択」ボタン

現在選択している項目を確定するボタンです。 選択している項目がサブメニューを持っている場合は、サブメニューの階層に移動します(図 5.1.3)。

#### 「クリア」ボタン

入力した文字を左に向かって 1 文字ずつ消去するボタンです。 このボタンは、IP アドレスや電話番号、名前などの文字列の削除や修正の際に使用します。



図 5.1.6

#### 「O」~「9」(数字) ボタン

メニュー項目の左に表示されている番号の「数字」ボタンを押すと、そのサブメニューにジャンプします。番号が2桁の場合は、間をあけずにすばやく2つの番号を押してください。

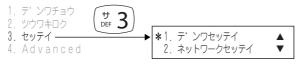


図 5.1.7

次のように、「1. ハイ」、「2. イイエ」のように表示されている場合は、 [7] 、 2.2 で選択します。

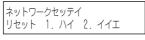


図 5.1.8

電話番号や IP アドレスなどの文字列を入力する画面では、数字を入力するのに使用します。

#### 「\*」ボタン

IP アドレスなどを入力する画面でピリオド(.)を入力するのに使用します。

#### 5.2 電話の設定

[3. セッテイ] → [1. デンワセッテイ]

電話の設定では、液晶ディスプレイの表示言語、着信時の鳴動音を設定することができます。 電話の設定は、本製品の再起動によって、デフォルトに戻ります。

#### 表示言語

「3. セッテイ」→「1. デンワセッテイ」→「**1. ヒョウジゲンゴ**」(デフォルト:ニホンゴ) 液晶ディスプレイの表示言語の切り替え

1 (3) (1) (1) の順にボタンを押してください。 下記が表示されます(チェックマークは現在の表示言語を示しています)。

\*1. エイコ\*

2. ニホンコ゛🗸

2 🖒 または 🖒 で希望の表示言語を選択し、 📸 で確定してください。 クが移動して、表示言語が確定します。

「1.English」を選択すると、直ちに表示言語は英語に切り替わり、下記のように表示されます。

**\***1. English✓ 2. Japanese



(21) または(22) で切り替えることもできます。数字ボタンを押すと、チェックマークは直接希 望する表示言語に移動します( 一 を押す必要がありません)。

3 ~ を4回押し、「通話モード」に抜けてください(再起動は行われません)。



本製品を再起動すると、表示言語はデフォルト(ニホンゴ)に戻ります。

#### 着信音

「3. セッテイ」→「1. デンワセッテイ」→「**2. チャクシンオン**」(デフォルト:チャクシンオン 1) 着信時の鳴動音の切り替え

Web による設定が可能

1 ※3 (\*3) (\*1) (\*2) の順にボタンを押してください。 下記が表示されます(チェックマークは現在の着信音を示しています)。

**\* ✓**1. チャクシンオン

2. チャクシンオン 2

2  $\stackrel{\longleftarrow}{\bigcirc}$  または  $\stackrel{\longleftarrow}{\bigcirc}$  で希望の着信音を選択し、 $\stackrel{\blacksquare}{\bigcirc}$  で確定してください。 $\stackrel{\longleftarrow}{\bigcirc}$  または  $\stackrel{\longleftarrow}{\bigcirc}$  を押すごとに「\*」 が移動し、着信音がデモンストレーションを聞くことができます。 🏲 を押すと「\*」が指している項目 にチェックマークが移動し、着信音が確定します。設定は直ちに本製品の動作に反映されます。

5. チャクシンオン 5 ▲ **\* /** 6 . チャクシンオン 6



(♣0) ~ (♣9) で切り替えることもできます。数字ボタンを押すと、チェックマークは直接希望す る着信音に移動します( ● を押す必要がありません)。10~13の着信音を選択する場合は、 **ヒント** 素早く2つのボタンを押してください。また、数字ボタンによる選択では、デモンストレーショ ンを聞くことができません。

3 ~ を4回押し、「通話モード」に抜けてください(再起動は行われません)。



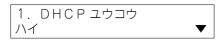
本製品を再起動すると、着信音はデフォルト(チャクシンオン 1)に戻ります。

#### 5.3 ネットワークの設定

#### DHCP クライアントの有効化/無効化

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「2. ネットワークセッテイ」  $\rightarrow$  「1.DHCP ユウコウ」(デフォルト:ハイ) Web による設定が可能

1 (23 (22 (71) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。



2 ● を押してください。右の「▼」が消え、カーソルが左下に表示されます。



3 ☆ または ☆ を押し、「ハイ」または「イイエ」を選択してください。下記では「イイエ」を選択しています。



4 ● を押してください。「イイエ」が確定します。

カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

DHCP ユウコウ
 イイエ

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38)に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、  $\stackrel{-}{\smile}$  または  $\stackrel{-}{\Box}$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### MAC アドレスの表示

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「2. ネットワークセッテイ」  $\rightarrow$  「2.MAC アドレス」(参照のみ) Web による確認が可能

(\*\*3 (\*\*2) (\*\*2) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。



#### ホスト名の表示

「3. セッテイ」→「2. ネットワークセッテイ」→「**3. ホストメイ**」(参照のみ)

ホスト名は、MAC アドレスの先頭に「AT」を付加した文字列となります。

□ 3 (2) 3 の順にボタンを押してください。下記が表示されます。



#### IP アドレスの表示/設定

「3. セッテイ」→「2. ネットワークセッテイ」→「**4.IP アドレス**」 Web による設定が可能

「1.DHCP ユウコウ」が「ハイ」の場合、取得した IP アドレスが表示されます。 「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、IP アドレスを手入力することができます。 1 <u>\*\*\*</u> (\*3) (\*2) (\*4) の順にボタンを押してください。「1.DHCPュウコウ」が「ハイ」の場合、取得した IP アドレスが表示されます(IP アドレスの変更はできません)。

4. | P ア ト\* レス 10. 1. 1. 100 ▼

4. IPアト レス 0. 0. 0. 0 ■

3 <sup>2リア</sup> で「0.0.0.0」を削除し、 20 ~ 29 と (\*\*) を使って IP アドレスを入力してください。

4. IPアト レス 10. 1. 1. 105■

4 ● を押してください。IPアドレスが確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

4. IPアト レス ▲ 10. 1. 1. 105 ▼

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38)に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、  $\stackrel{-}{\smile}$  または  $\bigcirc$   $\bigcirc$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### サブネットマスクの表示/設定

「3. セッテイ」→ 「2. ネットワークセッテイ」→ 「**5. サブネットマスク**」 Web による設定が可能

「1.DHCP ユウコウ」が「ハイ」の場合、取得したサブネットマスクが表示されます。 「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、サブネットマスクを手入力することができます。

1 <u>\*\*3</u> \*3 <u>\*2</u> \*5 の順にボタンを押してください。「1.DHCP ユウコウ」が「ハイ」の場合、取得したサブネットマスクが表示されます(サブネットマスクの変更はできません)。

5. サフ゛ネットマスク 255. 255. 255. 0 ▼

**2**「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、サブネットマスクを入力することができます。

<sup>™</sup> を押してください。右の「▲」「▼」が消え、「255.255.255.0」の後にカーソルが表示されます。

5. サフ゛ネットマスク 255. 255. 255. 0■

**3**  $\stackrel{\circ}{\sim}$  で「255.255.255.0」を削除し、 $\stackrel{\circ}{\sim}$   $\stackrel{\circ}{\sim}$   $\stackrel{\circ}{\sim}$  を使ってサブネットマスクを入力してください。

5. サフ゛ネットマスク 255. 255. 255. 0■

**4** ● を押してください。サブネットマスクが確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

5. サフ゛ネットマスク 255. 255. 255. 0 ▼

5 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38) に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、 かままたは 20 ~ 29 で希望の項目を選択し、設定を続行して ください。

#### 電話番号の設定

「3. セッテイ」→「2. ネットワークセッテイ」→「**6. デンワバンゴウ**」 Web による設定が可能

1 📇 🔭 3 🖟 2 🐪 6 の順にボタンを押してください。

6. デ`ンワハ`ンコ`ウ 27999168 ▼

2 ॕ を押してください。右の「▲」「▼」が消え、「27999168」の後にカーソルが表示されます。

6. デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ 27999168■

**3** で「27999168」を削除し、**20** ~ **29** を使って希望の電話番号を入力してください。15 桁まで入力可能です。

6. デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ 0001■

**4** ● を押してください。電話番号が確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

6. デンワバンゴウ 0001 ▼

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38)に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、  $\dot{}$  または  $(a_0)$  ~  $(a_0)$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### FTP サーバーの設定

ファームウェアのバージョンアップで使用する FTP サーバーの IP アドレスを指定します。

**参照** 「9.3 液晶ディスプレイのメニューによるファームウェアの更新」(p.49) 「FTP サーバーの指定」(p.49)

#### デフォルトゲートウェイの表示/設定

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「2. ネットワークセッテイ」  $\rightarrow$  「8. デフォルトゲートウェイ」 Web による設定が可能

「1.DHCP ユウコウ」が「ハイ」の場合、取得したデフォルトゲートウェイの IP アドレスが表示されます。 「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、デフォルトゲートウェイの IP アドレスを手入力することができます。

8. テ゛フォルトケ゛ートウェイ▲ 10. 1. 1. 5 ▼

**2**「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、IP アドレスを入力することができます。

<sup>■</sup> を押してください。右の「▲」「▼」が消え、「192.168.1.1」の後にカーソルが表示されます。

8. テ゛フォルトケ゛ートウェイ 192. 168. 1. 1■ **3** 🖑 で「192.168.1.1」を削除し、 😰 0 ~ 🚉 9 と 🤃 \*) を使って IPアドレスを入力してください。

8. デ゛フォルトケ゛ートウェイ 10. 1. 1. 5■

**4** ● を押してください。IPアドレスが確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

8. テ゛フォルトケ゛ートウェイ▲ 10. 1. 1. 5 ▼

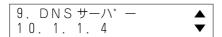
**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38) に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、 $\dot{}$  または  $\hat{}$  または  $\hat{}$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### DNS サーバーの表示/設定

「3. セッテイ」→「2. ネットワークセッテイ」→「**9.DNS サーバー**」 Web による設定が可能

「1.DHCP ユウコウ」が「ハイ」の場合、取得した DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。 「1.DHCP ユウコウ」が「イイエ」の場合、DNS サーバーの IP アドレスを手入力することができます。

1 <u>\*\*3</u> ② ② の順にボタンを押してください。「1.DHCPュウコウ」が「ハイ」の場合、取得した IP アドレスが表示されます (IP アドレスの変更はできません)。



9. DNS サーハ\* -0. 0. 0. 0 ■

9. DNS サーハ° -10. 1. 1. 4 ■

**4** ● を押してください。IPアドレスが確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

9. DNS サーハ \* − 10. 1. 1. 4

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38) に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、  $\stackrel{1}{\smile}$  または  $\stackrel{2}{\smile}$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### SIP サーバーの有効化/無効化

「3. セッテイ」→「2. ネットワークセッテイ」→「**10. プロキシーユウコウ**」(デフォルト:イイエ) Web による設定が可能

SIP サーバーの参照を有効にするためには、「表 4.1.2 SIP の設定のパラメーター」(p.23)の「SIP サーバーアドレス」の設定が必要です。

1 (\*3) (\*2) (\*1) (\*20) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

10. フ°ロキシーユウコウ ▲ イイエ ▼

**2**  $\stackrel{|\!||}{\bigcirc}$  を押してください。右の「 $\blacktriangle$ 」「 $\blacktriangledown$ 」が消え、カーソルが左下に表示されます。

10. プ゜ロキシーユウコウ イイエ

3 ☆ または ☆ を押し、「ハイ」または「イイエ」を選択してください。下記では「ハイ」を選択しています。

10. フ°ロキシーユウコウ ハイ

**4** ● を押してください。「ハイ」が確定します。 カーソルが消え「▲」「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

10. プ°ロキシーユウコウ ▲ ハイ ▼

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38) に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、 $\dot{}$  または  $\hat{}$  または  $\hat{}$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### SIP サーバーの表示

「3. セッテイ」→ 「2. ネットワークセッテイ」→ 「**11.SIP プロキシー**」(表示のみ) Web による設定が可能

1 (\*\*3) (\*2) (\*1) (\*1) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。 SIP サーバーがホスト名で設定されている場合は、ホスト名の先頭 15 文字が表示されます。

#### コーデックの設定

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「2. ネットワークセッテイ」  $\rightarrow$  「12. コーデック」(デフォルト:G.711U) Web による設定が可能

1 \*= (\*\*3) (\*\*2) (\*\*1) (\*\*2) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

12. コーテ゛ック G. 711U ▼

2 ॕ を押してください。右の「▲」「▼」が消え、カーソルが左下に表示されます。

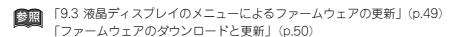
12. コーテ゛ック G. 711U **3** 🗽 または 🖕 を押し、「G.711A」、「G.711U」、「G.729 (未サポート)」、「Auto」のどれかを選択してください。下記では「G.711U」を選択しています。

**4 ●** を押してください。コーデックが確定します。 カーソルが消え「▲」「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

**5** 他に設定したい項目が無ければ、「ネットワーク設定の内容の保存」(p.38)に進んでください。 他に設定したい項目がある場合は、 $\dot{}$  または  $\hat{}$  または  $\hat{}$  で希望の項目を選択し、設定を続行してください。

#### ファームウェアの更新

FTP サーバーから、新しいファームウェアをダウンロードします。



#### ファームウェアバージョンの表示

「3. セッテイ」→ 「2. ネットワークセッテイ」→ 「**14.F/W バージョン**」(参照のみ)

 $\stackrel{\times = 1^-}{\longleftarrow} \left(\begin{smallmatrix} v \\ w \end{smallmatrix} 3 \right) \left(\begin{smallmatrix} 0 \\ * \end{smallmatrix} 2 \right) \left(\begin{smallmatrix} 0 \\ * \end{smallmatrix} 1 \right) \left(\begin{smallmatrix} 0 \\ w \end{smallmatrix} 4 \right)$  の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

#### ネットワーク設定の内容の保存

「2. ネットワークセッテイ」の各項目の設定を終えたら、 きゅう を押してください。下記が表示されます。

ネットワークセッテイ リセット 1. ハイ 2. イイエ

- (1) を押すと、設定内容は保存され、本製品は再起動します。
- (22) を押すと、設定内容は破棄され、再起動は行われません。

#### 5.4 日付と時刻の設定

#### 日付書式の設定

「3. セッテイ」→「3. トケイセッテイ」→「1. ヒヅケ/ジコク」→「1. ヒヅ**ケショシキ**」(デフォルト: 1.DD/MM/YY)

1 (3) (3) (1) (1) の順にボタンを押してください。 下記が表示されます (チェックマークは現在の日付書式を示しています)。

\*1. DD/MM/YY

2. MM/DD/YY

1. DD/MM/YY \*2. MM/DD/YY



②1 または ②2 で切り替えることもできます。数字ボタンを押すと、チェックマークは直接希望する日付書式に移動します( 空 を押す必要がありません)。

**3** ~ を5回押し、「通話モード」に抜けてください(再起動は行われません)。

#### 時刻書式の設定

「3.セッテイ」→「3.トケイセッテイ」→「1.ヒヅケ/ジコク」→「**2.ジコクショシキ**」(デフォルト: 1.24ジカンセイ)

1 (23) (33) (31) (22) の順にボタンを押してください。 下記が表示されます (チェックマークは現在の時刻書式を示しています)。

\*1.24シ\*カンセイ✔ 2.12シ\*カンセイ

1. 24シ カンセイ \*2. 12シ カンセイ✓



② 1 または ② 2 で切り替えることもできます。数字ボタンを押すと、チェックマークは直接希望する時刻書式に移動します( $\stackrel{\cdot}{\bigcirc}$  を押す必要がありません)。

3 ~ を5回押し、「通話モード」に抜けてください(再起動は行われません)。

#### タイムゾーンの設定

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「3. トケイセッテイ」  $\rightarrow$  「1. ヒヅケ / ジコク」  $\rightarrow$  「3. タイムゾーン」 (デフォルト: 61. (GMT+09:00) , トウキョウ , オオサカ , サッポロ) Web による設定が可能

1 (23) (23) (71) (23) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

61. (GMT +09:00) トウキョウ, オオサカ, サッホ 2 ≝ を押してください。左上に「\*」が表示されます。

\*61. (GMT +09:00) トウキョウ, オオサカ, サッホ

3 ☆ または ☆ を押し、タイムゾーンを選択してください。

**\***62. (GMT +09:00) ソウル

4 巻 を押し、現在選択中のタイムゾーンを確定してください。左上の「\*」消えます。

**\***6 2. (GMT +09:00) ソウル

5 き押してください。下記が表示されます。

タイムソ゛ーン リセット 1.ハイ 2.イイエ

- [1] を押すと、タイムゾーンの設定は保存され、本製品は再起動します。
- (22) を押すと、タイムゾーンの設定は破棄され、再起動は行われません。

#### サマータイム(未サポート)

「3. セッテイ」  $\rightarrow$  「3. トケイセッテイ」  $\rightarrow$  「1. ヒヅケ / ジコク」  $\rightarrow$  「4. サマータイム」(デフォルト: イイエ) Web による設定が可能

1 \*\*\* (\*\*3) (\*\*3) (\*\*3) (\*\*1) (\*4) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

サマータイムユウコウ イイエ

2 巻 を押してください。カーソルが左下に表示されます。

サマータイムユウコウ イイエ

3 🗽 または 🖕 を押し、「ハイ」または「イイエ」を選択してください。下記では「イイエ」を選択しています。

サマータイムユウコウ イイエ

4 ● を押してください。設定内容が確定します。カーソルが消えます。

サマータイムユウコウ イイエ

**5** 一 を押してください。下記が表示されます。

サマータイム リセット 1. ハイ 2. イイエ

- (71) を押すと、サマータイムの設定は保存され、本製品は再起動します。
- (2) を押すと、サマータイムの設定は破棄され、再起動は行われません。

#### 5.5 VoIP FDB の有効化/無効化

「4.Advanced」(デフォルト:イイエ)

1 📇 🖫 の順にボタンを押してください。下記が表示されます。

FDB ユウコウ イイエ

2 巻 を押してください。カーソルが左下に表示されます。

F D B ユウコウ イイエ

**3**  $\stackrel{\iota}{\smile}$  または  $\stackrel{\iota}{\smile}$  を押し、「ハイ」または「イイエ」を選択してください。下記では「ハイ」を選択しています。

FDB ユウコウ ハイ

4 巻 を押してください。設定内容が確定します。カーソルが消えます。

FDB ユウコウ ハイ

5 管 を押してください。下記が表示されます。

Advanced リセット 1. ハイ 2. イイエ

- [1] を押すと、Advanced の設定は保存され、本製品は再起動します。
- (2) を押すと、Advanced の設定は破棄され、再起動は行われません。

# 6 トラブルシューティング

#### Web による設定画面がうまく表示されません

• Web ブラウザーとして Internet Explorer Ver.6 以上を使用してください。

Web の「Welcome to CP100TX Phone Setings」画面で正しいパスワードを入力し、「Login」ボタンを クリックしたにもかかわらず、「x.x.x.x へのネットワーク接続を試みている時に接続が拒否されました。」と表示されます

• Web ブラウザーとして Internet Explorer Ver.6 以上を使用してください。

#### 液晶ディスプレイに「DHCP シュトクチュウ ...」と表示され、着信 LED が点滅する

• DHCP サーバーとの通信ができないため、IP アドレスなどの情報が取得できません。 本製品が構内ネットワーク(IEEE802.3af 準拠スイッチ)に正しく接続されていることを確認してください。また、IEEE802.3af 準拠スイッチから DHCP サーバーまでの経路が通信可能か否かを確認してください。

#### 液晶ディスプレイに「SIP Server ケンサクチュウ ...」と表示され、着信 LED が点滅する

• SIP サーバーとの通信ができません。 本製品に設定されている SIP サーバーの IP アドレスが正しいか否かを確認してください。 SIP サーバーが本製品以外のサブネットに存在する場合は、本製品に設定されているデフォルトゲート

本製品から SIP サーバーまでの経路が通信可能か否かを確認してください。

ウェイのIP アドレスが正しいか否かを確認してください。

#### 通話モードで表示される日時が正しくありません

NTP サーバーと通信ができないため、現在の日時を設定できません。
 本製品に設定されている NTP サーバーの IP アドレスが正しいか否かを確認してください(Web 設定画面)。

NTP サーバーが本製品以外のサブネットに存在する場合は、本製品に設定されているデフォルトゲートウェイの IP アドレスが正しいか否かを確認してください。

本製品から NTP サーバーまでの経路が通信可能か否かを確認してください。

# フ 再起動



再起動が実行されている間、PC ポートに接続されているコンピューターは、一時的に使用できない状態となりますので、ご注意ください。

#### 電源オン/オフによる再起動(PoEの場合)

1 LAN ポートに接続されている UTP ケーブルを抜いてください。

2 LAN ポートに UTP ケーブルを接続してください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

#### 電源オン/オフによる再起動(AC アダプターの場合)

1 AC アダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2 AC アダプターの電源プラグを電源コンセントに接続してください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

# 8 工場出荷時設定への初期化

1 表示モードが「通話モード」であることを確認してください。「通話モード」では、下記のように日時、自分の電話番号が表示されています。

28/07/05 11:34 **8** 2601

2 (\*\*) (\*\*) (\*\*) (\*\*) (\*\*3) (\*\*4) の順にボタンを押してください。

02/01/08 19:03 **8** \*\*1234

**3** 左下に「■■」が表示されるまで、 (\*\*) を押し続けてください。 表示されたら、ボタンから指を離してください。

Booting ... ■■

4次のような文字列が表示されます(文字列はファームウェアバージョンによって異なります)。

CPC2 v 0. 02. 07 Rcv

**5** (#) (\*\*\*) (\*\*\*\*) か順にボタンを押してください。

CPC 2 v 0. 02. 07 Rcv #5\*5

6 再起動が始まります。

Booting ...

7 再起動が完了すると、下記が表示されます。

02/01/08 00:00 **2** 27999168

# 9 ファームウェアの更新

本製品のファームウェアの更新(バージョンアップ)は、ATKK Tool Kit または液晶ディスプレイのメニューモードで行うことができます。

ATKK Tool Kit は、同一サブネットワークに存在する本製品をリスト表示し、その中から更新の対象とする本製品を選択することができます。

液晶ディスプレイのメニューモードによる更新では、FTP サーバーを用意する必要があります。

#### 9.1 ファームウェアバージョンの確認方法

本製品のファームウェアバージョンは、下記の2つの方法で確認することができます。

液晶ディスプレイ (\*\*\* 3) (\*\*2) (\*\*1) (\*\*4) の順にボタンを押す)

参照 「ファームウェアバージョンの表示」(p.38)

 本製品底面に貼付されたファームウェアバージョンラベル 弊社を出荷する際に、本製品にダウンロードされているファームウェアのバージョンが記載されます(本 製品の出荷後に、フィールドなどでファームウェアの更新が行われた場合、ファームウェアバージョンラベルの記載と、ダウンロードされているファームウェアのバージョンは一致しなくなります)。

#### 9.2 ATKK Tool Kit によるファームウェアの更新

#### ATKK Tool Kit の動作環境

ATKK Tool Kit は、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows 98 Second Edition Windows Me
- Windows NT<sup>®</sup> 4.0 、Windows 2000 Professional 、
   Windows XP Home Edition 、Windows XP Professional

#### ATKK Tool Kit のインストール

ATKK Tool Kit は、「ATKK Tool Kit.zip」という名称の zip アーカイブで提供されます。zip アーカイブを適当なフォルダーで展開してください。下記では、「C:\Program Files\ATKK Tool Kit」に展開しています。



図 9.2.1 インストールされた ATKK Tool Kit

#### ATKK Tool Kit によるファームウェアの更新

1 ATKKToolKit.exe をダブルクリックしてください。



図 9.2.2

**2** ファームウェアの更新を行う本製品の IP アドレスが分かっている場合は、「IP Address in Terminal:」に IP アドレスを入力して、手順 6 (p.48) に進んでください。 IP アドレスが分かっていない場合は、「List Phones」ボタンをクリックして、次の手順に進んでください。

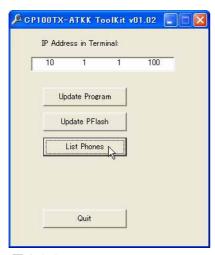


図 9.2.3

**3** Windows XP をご使用の場合、下記のダイアログボックスが現れたら、「ブロックを解除する」ボタンをクリックしてください(このダイアログボックスは、最初の一度しか現れません)。



図 9.2.4

**4** ATKK Tool Kit を実行しているコンピューターのネットワークに存在する本製品のリストが表示されます。 表示されない場合は、「Refresh」ボタンをクリックしてください。

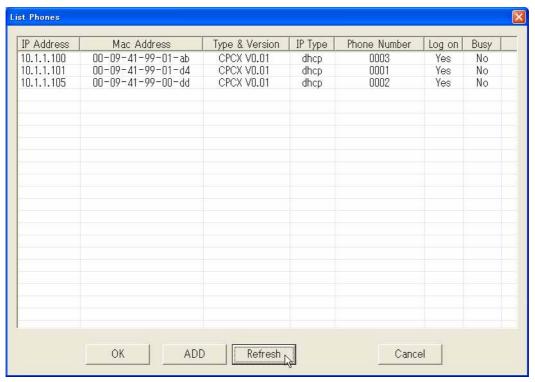


図 9.2.5

5 更新対象の本製品を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

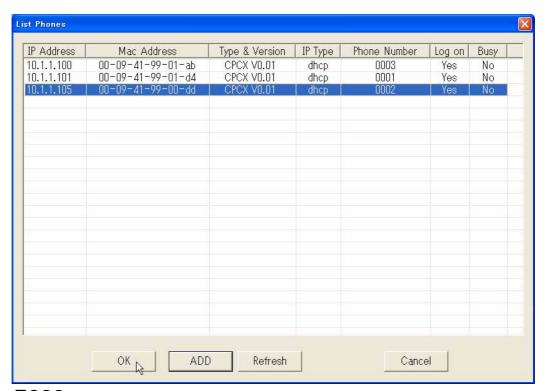


図 9.2.6



「ADD」ボタンはクリックしないでください。

**6**「IP Address in Terminal:」に更新対象の IP アドレスが表示されていることを確認して、「Update Program」 ボタンをクリックしてください。

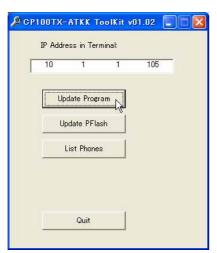


図 9.2.7



「Update PFlash」ボタンはクリックしないでください。

**7** ファームウェアのファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。 下記の例では、「CPCXv0017c7.bin」を選択しています。

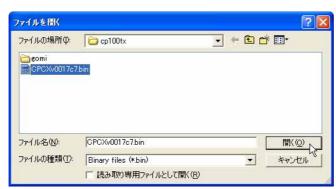


図 9.2.8

8 本製品へのファームウェアのダウンロードが開始されます。

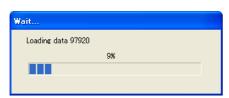


図 9.2.9

ダウンロードが実行されている間、本製品の液晶ディスプレイには下記が表示されます。

Updating ... オマチクタ゛サイ



本製品へのファームウェアのダウンロード中は、絶対に本製品の電源をオフにしないでください。

**9** ダウンロードが完了すると、不揮発性記憶領域へのファームウェアファイルの書き込みが始まり、下記が表示されます。



図 9.2.10

ファイルの書き込みが実行されている間、本製品の着信、ミュート、スピーカー LED が点滅し、液晶ディスプレイには進行状況がパーセンテージで表示されます。





不揮発性記憶領域へのファームウェアファイルの書き込み中は、絶対に本製品の電源をオフにしないでください。

10 書き込みが完了すると、本製品は再起動し、更新されたファームウェアで動作を開始します。



- 11 他にファームウェアを更新したい本製品がある場合は、手順2(p.46)から手順10を繰り返してください。 更新したい本製品がない場合は、「Quit」ボタンをクリックしてATKK Tool Kit を終了してください。
- 9.3 液晶ディスプレイのメニューによるファームウェアの更新

#### FTP サーバーの準備

- 1 FTP サーバーで匿名ユーザー「anonymous」を許可してください。
- **2** 匿名ユーザーのルートディレクトリーに、本製品にダウンロードするファームウェアファイルを置いてください。
  - (例) CPCXv0018c7.bin

#### FTP サーバーの指定

ファームウェアのダウンロード元となる FTP サーバーの IP アドレスを指定します。

**3** (\*3) (\*2) (\*7) の順にボタンを押してください。下記が表示されます。



**4**  $\stackrel{\mathbb{M}}{\longrightarrow}$  を押してください。右の「 $\blacktriangle$ 」「 $\nabla$ 」が消え、「0.0.0.0」の後にカーソルが表示されます。

```
7. FTPサーハ゛ー
0. 0. 0. 0 ■
```

5 🖑 で「0.0.0.0」を削除し、 😭 0 ~ (3.9) と (\*\*) を使って IP アドレスを入力してください。

```
7. FTPサーハ ー
10. 1. 1. 3 ■
```

**6** ● を押してください。IPアドレスが確定します。 カーソルが消え「▼」が表示されて、他の設定項目に移動できるようになります。

7 きずを押してください。下記が表示されます。

ネットワークセッテイ リセット 1. ハイ 2. イイエ

- 8 (₹1) を押してください。FTP サーバーの IP アドレスが保存され、本製品は再起動します。
  - (2) を押すと、設定内容は破棄され、再起動は行われません。

#### ファームウェアのダウンロードと更新

FTP サーバーから、新しいファームウェアをダウンロードし、更新を行います。

9 (3) (2) (1) (3) の順にボタンを押してください。下記が表示されます(F/W ファイル名はパージョンによって異なります)。

13. F / W ファイルメイ ▲ CPCX v 0 0 1 7 c 7. bi ▼

10 一 を押してください。下記が表示されます。

F / W ファイルメイ アッフ゜テ゛ート 1. ハイ 2.

11 ② 1 を押してください。本製品へのファームウェアのダウンロードが開始され、液晶ディスプレイには、バイトカウントが表示されます。

Updating ... 183040



本製品へのファームウェアのダウンロード中は、絶対に本製品の電源をオフにしないでください。



FTP サーバーに置かれているファームウェアファイルが、本製品のファームウェアと同一または古いバージョンである場合、FTP サーバーからのダウンロードは行われず、ひとつ上のメニュー階層に戻ります。また、FTP サーバーの IP アドレスが誤っている場合も同様になります。

- 1. デンワセッテイ 2. ネットワークセッテイ ▼
- 12 ダウンロードが完了すると、不揮発性記憶領域へのファームウェアファイルの書き込みが始まります。ファイルの書き込みが実行されている間、本製品の着信、ミュート、スピーカー LED が点滅し、液晶ディスプレイには進行状況がパーセンテージで表示されます。

Updating ... 10%



不揮発性記憶領域へのファームウェアファイルの書き込み中は、絶対に本製品の電源をオフにしないでください。

13 書き込みが完了すると、本製品は再起動し、更新されたファームウェアで動作を開始します。

Booting ...

## A 付録

#### A.1 液晶ディスプレイの全表示項目と設定のデフォルト値

液晶ディスプレイに表示される全項目と、設定項目のデフォルト値を示します。() 内は、「1. ヒョウジゲンゴ = 1. エイゴ」を設定したときの表示です。「 $\checkmark$ 」は、デフォルトの選択項目です。通話記録の「#」の部分には、件数(0  $\sim$  8)が表示されます。

#### 1. デンワチョウ (1.Address Book)

1. リスト (1.View)

2. ケンサク (2. Search)

1. ナマエケンサク (1.By Name)

2. バンゴウケンサク (2.By Number)

3. シンキ (3.New Entry)

77I: (Name:)

ハ゛ソコ゛ウ: (No:)

リセット (Reset)

カケニン 1. I/Y 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

4. サクシ゛ョ (4.Delete)

1. ナマエケンサク (1.By Name)

サクシ゛₃ (Delete)

カケニン 1. M 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

2. スベテサクジョ (2.All)

スヘ゛テサクシ゛ョ (Delete all)

カケニン 1. / 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

#### 2. ツウワキロク(2.Call Records)

1. フザイチャクシン # (1.Missed #)

1. リ자 (1.View)

1. ダイヤル (1.Dial)

2. サクジョ (2.Delete)

フサ ゚イチャクシン (Missed Calls)

カケニン 1. ハイ 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

2. スベテサクジョ (2.Delete All)

スヘ゛テサクシ゛ョ (Delete All)

カケニン 1. ハイ 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

2. チャクシン # (2.Received #)

1. リスト (1. View)

1. ダイヤル (1.Dial)

2. サケシ゛ョ (2.Delete)

チャクシンリレキ (Received Calls)

カケニン 1. M 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

2. スベテサクジョ (2.Delete All)

スヘ゛テサクシ゛ョ (Delete All)

カケニン 1. M 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

3. ハッシン # (3.Dialed #)

1. ダイヤル (1.Dial)

2. サクシ゛ョ (2.Delete)

// / / / (Dialed Calls)

カケニン 1. ハイ 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

2. スベテサクジョ (2.Delete All)

スヘ゛テサクシ゛ョ (Delete All)

カケニン 1. ハイ 2. イイI (Sure? 1.Y 2.N)

#### 3. セッティ (3.Setting)

1. デンワセッテイ (1.Phone Set.)

```
1. ヒョウシ ケ ンコ (1.Language)
       1. Iイゴ (1.English)
       2. ニホソコ* (2. Japanese) 🗸
   2. チャクシンオン (2.Ring Type)
       1. チャクシンオン 1 (1.Tone 1) 🗸
       2. チャクシンオン 2 (2.Tone 2)
       3. チャクシンオン 3 (3.Tone 3)
       4. fr/99/th 4 (4.Tone 4)
       5. チャクシンオン 5 (5.Tone 5)
       6. チャクシンオン 6 (6.Tone 6)
       7. チャクシンオン 7 (7.Tone 7)
       8. チャクシンオン 8 (8.Tone 8)
       9. チャクシンオン 9 (9.Tone 9)
       10. チャクシンオン 10 (10.Tone 10)
       11. チャクシンオン 11 (11.Tone 11)
       12. チャクシンオン 12 (12.Tone 12)
       13. チャクシンオン 13 (13.Tone 13)
3. ネットワークセッテイ (3.Network Cfg)
       1.DHCP בלבל (1.DHCP Enabled)
          M (YES) ✓
           11I (NO)
       2.MAC アドレス (2.MAC Address)
           000941xxxxxx
       3. ホストメイ (3. Host Name)
           AT000941xxxxxx
       4.IP アドレス (4.IP Address)
           DHCP サーバーより取得、「1.DHCP 1ウコウ = イイエ」のとき手入力可能
       5. サフ * ネットマスク (5. Subnet Mask)
           DHCP サーバーより取得、「1.DHCP ユウコウ = イイエ」のとき手入力可能
       6. デンワバンゴウ (6.Phone No)
           27999168
       7.FTP サ-バ- (7.FTP Server)
           0.0.0.0
       8. \bar{\tau}^{*}7 + h \bar{\tau}^{*} - h \bar{\tau}  (8.Router)
           DHCP サーバーより取得、「1.DHCP 1ウコウ = イイエ | のとき手入力可能
       9.DNS #-/\"- (9.DNS Server)
           DHCP サーバーより取得、「1.DHCP ユウコウ = イイエ」のとき手入力可能
       И (YES)
           11I (NO) ✔
       11.SIP プロキシー (11.SIP Proxy)
           0.0.0.0
       12. コーテ゛ック (12.Codec)
           Auto
           G.711A
           G.711U
           G.729 (未サポート)
       13.F/W ファイルメイ (14.Firm. Update)
           CPCXv0017c7.bin
       14.F/W バージョン (14.Firmware Ver)
           V.0.01 B07
4. トケイセッテイ (4.Clock Set)
    1. ヒヅケ / ジコク (1.Date/Time)
       1. ヒツ ケショシ‡ (1.Date Format)
           1.DD/MM/YY
           2.MM/DD/YY
       2. ジコクショシキ (2.Time Format)
```

1.24 ジカンセイ (1.24 Hours) 
2.12 ジカンセイ (2.12 Hours)
3. タイムン゙ーン (3.Time Zone)
61.(GMT+09:00) トウキョウ, オオサカ, サッポロ (61.(GMT+09:00)Tokyo,Osaka,Sappro) 

GMT-12:00 ~ GMT+13:00 で 1:00 刻みに 74 項目の選択肢が存在
4. サマータイム (4.Light Set) (未サポート)
サマータイムユウコウ (DayLight Set)
イイエ (NO) 

M (Yes)

#### 4.Advanced (4.Advanced)

FDB לכלי (FDB Enabled) אוו (NO) ✓ M (YES)

## ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載 しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2005 アライドテレシスホールディングス株式会社

### 商標について

CentreCOM はアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェア、周辺機器、サービスの名称などは、各メーカーの商標または登録商標です。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

### 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

## 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

0120-860442

月~金(祝・祭日を除く)9:00~17:30

# マニュアルバージョン

2005年12月 Rev.C V.0.02 B02、制限事項を分離

2005年9月 Rev.B 誤記訂正

2005年9月 Rev.A 初版 (V.0.01B07)